

「BCP対策・生産性向上のためのシステム投資」の概要

～利用者本位の保証対応～
～健全経営の推進及び地域社会活性化への貢献～

事業の内容

1. 事業の目的と効果

目的：BCPの見直し

- ・信用保証業務は中小企業金融のインフラの一つ
- ・大規模災害、危機時におけるリモートワーク環境の整備

効果：生産性向上

- ・リモートワーク体制構築により危機時の**縮退業務が可能**
- ・顧客サービス向上への**時間捻出が可能**

2. 事業内容と成果目標

✓クラウド化

現在の業務をMS365、Azure内に格納
チームの生産性を意識した円滑かつ効率的なリモートワーク

✓CRM構築

さまざまな顧客情報をデータベース化し、必要な情報を適時把握
外出先でも使用でき、的確かつ迅速な経営支援が可能

✓スマホ化（固定電話を廃止）

固定電話をスマホ化することで、従来の電話対応を円滑に執行
業務のスピードアップにより生産性向上、異動時の業務負担軽減
※今後はBPR（ビジネス・プロセス・リエンジニアリング）を推進

3. 事業の背景と経緯

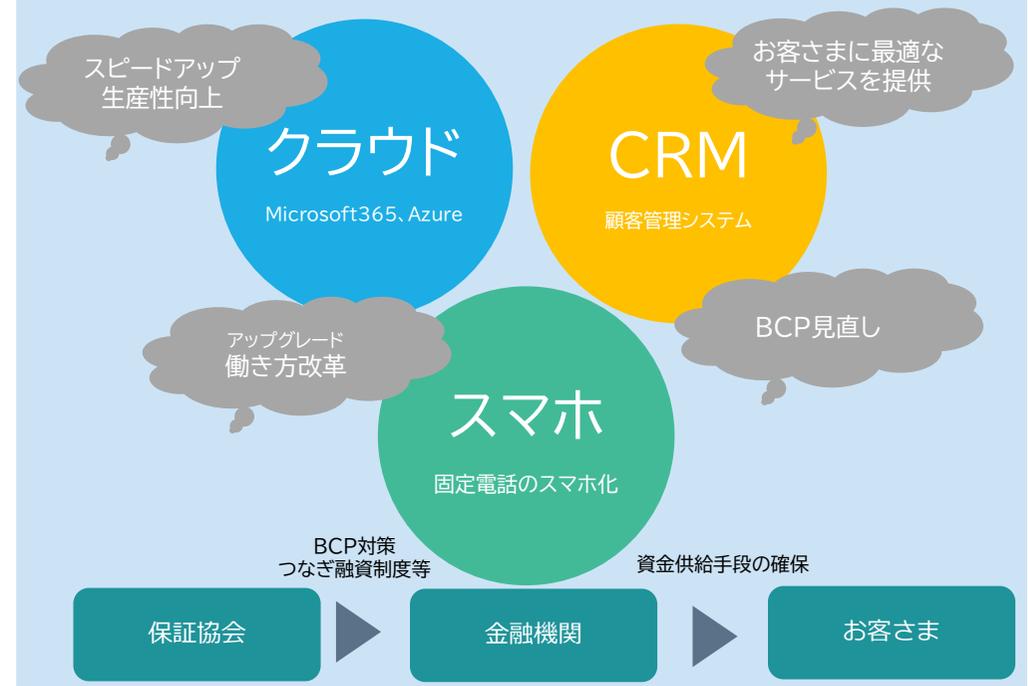
BCPを見直した背景

- 金融危機やリーマンショックに続き、新型コロナで信用保証協会の「存在意義」（セーフティネット機能）がクローズアップ
- 資金繰り（資金供給）は、中小企業者のいわば「血液」にあたるもの
と言え、信用保証業務は中小企業金融の「インフラ的な存在」

見直しの概要

- 資金供給の代替手段を検討した結果、「つなぎ融資制度」で代替可能
- インシデント時に業務を可能とする環境整備（クラウド化・スマホ代替）⇒ リモートワーク体制構築による生産性向上にも寄与

事業イメージ



業務見直しの目的（なぜ、デジタル化か？）

【目的】

- ✓ 単純作業である事務作業の時間を削減し、
- ✓ 保証業務や経営支援等の**コア業務への時間を捻出すること**

* コア業務とは企業活動の根幹を成す業務



危機管理体制の強化
BCP起点

共同システム対応
(制約条件：閉域LAN)

システムクラウド化
(閉域LANの基幹系除く)

クラウド化+スマホ
(リモートワーク体制構築)

業務運営基盤の確保
BCP+BPR